

活動名: 2019SUPER COPA 夏 波崎遠征  
日程:令和元年7月20日～21日  
会場:神栖市ジャーニーロード太田グラウンドほか  
参加:10名(6年生4人、5年生6人)  
帯同:設楽・渡辺コーチ  
結果:24位/26チーム中  
報告:設楽

子供たちが夏休みに入る早々の時期、関東のチームが主催し強豪が集まる波崎のフェスティバルをアーレの初夏の恒例行事「波崎遠征」を実施しました。

当初はL100クラスの5・6年生とTクラスの6年生を対象としていましたが、参加者数に満たない状況であったため、Tクラスの5年生も募り、なんとか10名の参加者を受け実施することができました。

貸切バスを借りる人数でもなく、昨年も少なかったことから10人乗りのハイースレンタカーを借りて設楽が運転し、茨城県波崎まで有志を連れていきます。当然、交通事故などの大きなリスクを感じていますが、会場周辺が交通手段の不自由な場所であり、時間も不規則に自由に動けることから自分が責任を負ってでもこの交通手段をレンタカー行程としています。

さて、朝6時過ぎの集合出発だったので選手たちは車中の中、ぐっすり寝て行くものだと思っていましたが、みんな朝から元気な様子で寝ることも無く、準備したおにぎりなどの朝食をもぐもぐと和気あいの車内で、渡辺コーチ車輛を先頭に会場へ向かいました。



会場には試合開始90分前に到着。余裕をもって到着できたので、前チームの試合を観戦しながら自分たちの試合時間をアップしながら待ちました。

初日の試合は4試合で、他チームの試合を1試合はさみながら夕方までの戦

いでした。(1試合：15分ハーフ)

【初日】

VS 浦安トレセングリーン	0：9	●	
VS 八千代町 SSS	0：7	●	
VS ラルクヴェール G	0：5	●	
VS 東習志野	2：3	●	←フレンドリー

(主将智仁：2ゴール)

結果 グループ4位/4チーム中

雨も降らず、気温的にはそれほど熱くもなく、少し湿度が高いものの素晴らしい人工芝の会場で試合ができました。

しかし試合内容は・・・(泣)

初戦の浦安さんとの試合は、一言で言うとみんな「ビビリマン」、緊張もあるのか、相手におびえているのか、いつもと違うプレーの連続、ボールしか見ていない「ボールウオッチャー」、いつもならば防げる場面もうっかりミス、相手にプレッシャーを与えることもできず、失点を重ね気持ちもダウンしている様子、ベンチからの声も届かず、残念すぎる試合内容の完敗戦でした。

このままでは、何をしにこんな遠くまで来たのか・・・？

みんなを集めミーティングで気持ちを高め二試合目に挑みました。

2試合目の八千代町 SS さんは、結果次の日の二試合目にも戦ったチームでしたが、なかなかの強豪でした。結果は大敗しましたが、徐々に初戦よりは戦えました。しかし、いつもとは違う様子で、動きや気持ちが乗らず相手に思うようにやられてしまいました。

3試合目のラルクヴェールさんの試合では、何か吹っ切れたのか動きや気持ちを全力で戦ってくれて相手に向かって行くプレーが見られ、いつもの福島でのプレーを感じました。0：5という結果でしたが、その失点シーンは相手のシュートが大人並みに決められたものだったので仕方ないと思い、みんなにいつもどおり良く戦ったねと褒めました。

フレンドリーは、前半に3失点でしたが後半はずっと攻め、2得点で相手を脅かしました。明日に繋がる良い試合を見せてくれました。



宿舎へ17:30ごろに到着。

フロントの方へあいさつをして部屋に荷物を置き、夕食前にお風呂に入り、18:30から大食堂で夕食。

しっかりとご飯を食べないと次の日に走れないぞと伝え、みんな美味しいご飯をしっかりと食べました。中には初日の疲れなのか、戻ってしまった子もいましたが、その後は元気に過ごせていたのでほっとしました。



毎年、この波崎遠征では夜のミーティングで笑いあり、涙あり、居眠りあり？で、選手たちとコーチとのコミュニケーションと意見交換でサッカーに対する気持ちが代わります。今回も1時間に及ぶ私の濃い？長いミーティングをさせていただきました（笑）

みんなにはこんな質問をしました・・・。

○どんな気持ちで波崎遠征に参加したのか？

○初日を終えてどう感じたか？

選手たちのほとんどが波崎遠征に参加したのは関東の強豪と戦う経験で相手の凄さを感じ、自分がどれだけできるのかを確かめたかったなどの気持ちを話してくれました。また、初日の感想は、自分のプレーが何もできなかった・・・、やっぱり相手が強かったなど刺激を受けたようで、泣きながら悔しさを出して話してくれる子もいました。

私からはこんなことを伝えました・・・。

試合をするにあたり、相手にビビっているのは気持ちで負けているのだから試合も勝てるはずがない。

負けたくないという気持ちで全力のプレーを見せてほしい。

今まで練習してきたことを思い出して自信をもってほしい。

全力とはどんなプレーなのか・・・？

今から上手なプレーをしてくれとは言っていない、見ている人たちが「感動するプレー」をしてほしい。それは、全力で相手に向かって行く姿、ボールを一生懸命に追う姿、ボールを奪われたら懸命に追い取り返す姿、仲間のために戦う気持ち、みんなのためにゴールする気持ち、絶対に決める魂のこもったシュート打つ、見ている人が「あいつ頑張っているな」と思えるプレーだと・・・。

そんなことがみんなには初日欠けていたと・・・。

ただ遠征に来て相手が強いチームだから「勝てない」とか、相手が上手いから追いかけても「取れない」とか、諦めの連続プレーだったので、こんな話をしました。

なぜ、プロの試合を見て感動するのか・・・？

上手なプレーのみならず、一番は一生懸命に勝ちたい気持ちで闘志あふれるプレーを見せてくれるから、見ている人たちが感動し応援したくなる・・・。

自分だけのためだけでなく、仲間のために戦う気持ち、それが大事であること。

仲間や見ている人たちが自分プレーを見て、頑張ったねと言ってもらえるようなそんな試合が見たいと告げ、初日のプレーを見ていても決して相手に劣っていないことも感じたこと、みんなは気持ち次第で代われるんだと伝えました。

また、試合中にコーチから声かけをしたときに、コーチに顔を向けず、聞いているのか、聞いていないのかわからない態度が多々見られたので、明日からは何か理解できた合図や顔をコーチに向けるなどの姿勢を見せてほしいと伝えました。それがコーチと選手との信頼感であると・・・。

ミーティング中は私の話しを真剣な眼差しで聞いていました。

このミーティングを通して何かを感じて明日からのみんなのサッカーに変化をもたらすだろう期待しました。

今週の木曜特練で熊坂コーチ、貝和コーチから選手たちが練習に向き合う気持ちが変わったとビックリしていました。

波崎遠征の環境を通して毎年、選手たちに変化をもたらすので凄いと感じています。また、関東の子たちにアーレの子たちは個々の技術は負けていないと思います。



朝も早かったので9：00消灯としました。  
やはりみんな疲れていたのですぐに寝ていました。

朝6時起床。  
自分たちで朝の体操をして、6：30から朝食。  
7：30に宿舎を出発。

会場は天然芝のグラウンドで、昨晚の雨でピッチはボールが伸びる状況でした。  
9：00からの第一試合に向けて渡辺コーチのアップで始まりました。

【下位トーナメント】

VS 上本郷 SC	1 : 0	○	(主将：智仁 1 得点)
VS 八千代町 SS	0 : 3	●	(初日は 0 : 7 で大敗)
VS 上本郷 SC	0 : 1	●	
VS 花園 SC	0 : 1	●	

昨日とは全く違うチームの戦いぶりで、サッカーに対する姿勢や相手に挑む気持ちあるプレーを見せてくれて全ての試合で私も、渡辺コーチも感動させられました。やはり、勝ちたい気持ちが足りなただけで、こんなにも一人ひとりがみんなのために体を張って相手の攻撃を防ぎ、果敢に攻め込むドリブルやシュートなどを見ることができ、次の日にはこんなにも代われるのかとみんなの凄い変化に可能性を感じました。

決して相手チームが下位トーナメントだからといって弱いチームではなく、自分たちが代わったことでこのような試合ができたと思います。



帰り車中では、歌謡曲をみんなで合唱をしたり、しりとり、波崎の感想など自分たちで仲良くレクリエーションをやって楽しく帰ってきました。車中の帰りに寝る選手もいなかったのもっと試合で動けたのでは？と思ってしまいましたが、切り替えの速い子たちでプレーでも見せて欲しかったです（笑）

5年生たちには来年も参加したいか？を確認したら、全員が希望していました。こんな環境を毎年経験していたら凄い成長できるでしょうね。今回のメンバーには3年生から参加しているあきら君もいますが、毎年成長を感じさせてくれます。

保護者の方々には、高額な参加費でも今回の遠征に子供達を参加させていただいたことに感謝いたします。

冬のコパ大会もあるようですが、選手たちのこれからのサッカーへの取り組み姿勢などを考慮しながら出場を検討していきたいと思います。

来週から始まる「TOMITA ファミリーカップ」、「me&you 大会」等で、今回の波崎の経験を出し切り、見ている人たちに感動を与えることができるプレーが続出することを期待したいと思います。

コーチ：設楽

